

辻 泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2004年11月12日 NO. 33

参議院厚生労働委員会(11月4日)質疑報告

◎ 台風 23 号、新潟県中越地震対策に万全の体制で臨め !!

辻 泰弘：台風 23 号、中越地震が厳しい爪跡を残した。医療・介護などの保険料の減免、生活資金の貸し付けなど、厚労省の取り組みを示せ。

尾辻 厚生労働大臣：被災者に国保・介護の保険料減免の周知に努力。

鈴木 厚労省官房長：生活福祉資金貸し付けの据置期間延長などを実施。

辻 泰弘：その他、医療・衛生・高齢者対策など多くの対応が必要。万全の体制で臨むべし。



◎ 現状にそぐわない第 9 次雇用対策基本計画を改定せよ !!

辻 泰弘：雇用対策法は経済計画と調和する雇用計画の策定を規定。現行経済計画の「改革と展望」は 2002 年 1 月に策定されたが、雇用計画は 1999 年 8 月策定のまま。経済計画はローリングプランで毎年改定。期間 10 年の雇用計画は 5 年間見直しなし。全く調和していない。

尾辻 厚生労働大臣：今朝質問内容を知った。経済計画と雇用計画は同内容。変える必要なし。

辻 泰弘：日本政府の唯一の雇用計画なのに、既に失効した法律に基づき、との表現まである。古ぼけた計画をなぜ掲げるのか。おかしい話だ。雇用を本気で考えていない。計画つくっても雇用はすぐ生まれないが、目標を描く中で対策を考えるのは必要。しっかり受けとめてほしい。

尾辻 厚生労働大臣：雇用計画を承知していなかった不明を恥じたい。帰ってもう一回読み直す。指摘のようなことがあれば放置できない。直ちにしかるべく手を打つつもりだ。

◎ BSE 対策では「食の安全」確保を貫徹せよ !!

辻 泰弘：20 カ月齢以下の牛の検査不要の方針。米国産牛肉の識別手段で安易な妥協するな。

尾辻 厚生労働大臣：米国産の安全基準も国内産と同一が不可欠。絶対譲るなど言っている。

◎ 「混合診療解禁」の論理は粗雑で意味不明。特定療養費制度を改革せよ !!

辻 泰弘：混合診療を求める規制改革会議の文書は、「混合診療が解禁されれば、国民間の所得格差に基づく不公平感は是正される」「混合診療を認めない現状は、…人道にもとる」などと粗雑で不明な論理展開。基本認識不十分。恥ずかしい表現。これで国の政策左右は情けない。

今の特定療養費制度は迅速性、弾力性に欠けている。高度先進医療、選定療養の改革必要。有効性、安全性、患者負担が問題。無原則な解禁は間違い。原則規制・例外自由で行くべき。

尾辻 厚生労働大臣：ポジティブリストの考え方が前提。「解禁」の総理指示を真剣に検討したい。

◎ 腐敗の温床「監修料」のプールをなくせ !!

辻 泰弘：公務員の残業時のタクシー代等に充てる出版物の監修料プールは腐敗の温床。やめさせよ。

尾辻 厚生労働大臣：その通りだと考える。 衛藤 厚生労働副大臣：社会通念上妥当か調査中。

◎ 全国の労働局の経理実態を調査せよ !! 前号別紙（読売新聞 11/5 記事）を参照。

ご意見・ご要望等は下記までお気軽にご連絡ください。

兵庫県事務所 TEL 078-230-8824 東京事務所 TEL 03-3508-8402 <http://yasuhiro-tsuji.jp/>